

[資料提供]

月 日	担当課（室・館等）	電話	担当者
令和7年11月28日(金)	県立博物館	668-3636	内藤芳香（自然担当・学芸員） 茨木 靖（自然担当・課長）

木下覺氏からの植物標本の寄贈について

当館では、このたび木下覺氏より、約10,000点の植物標本を寄贈していただきました。

1. 寄贈者

木下覺 氏（きのした さとる：徳島県鳴門市）

木下氏は小学校理科教諭として勤務する傍ら、植物の研究を続け、シコクナベワリやカイナンカンガレイなどの新種を発見するとともに、『出羽島の植物』、『徳島県の帰化植物』などの出版、「大麻比古神社のクスノキ」の文化財指定や、つるぎ町の「端山のタラヨウ」の県指定天然記念物（植物）指定に携わるなど、県内各地で希少植物の保護・保存活動に取り組んでいる。また、徳島県内だけでなく全国の研究者とも交流を続け、長年にわたり学術と地域の橋渡し役として重要な役割を果たしている。

過去の業績及び受賞歴

- ・鳴門市文化財保護審議会委員
- ・同審議会委員長
- ・徳島県文化財保護審議会委員
- ・徳島県植物研究会会長
- ・阿波学会副会長
- ・環境省希少野生動植物種保存推進員
- ・日本植物分類学会学会賞 受賞

2. 寄贈品の概要

徳島県産植物標本約10,000点。

本標本群には、木下氏が発見したシコクナベワリやカイナンカンガレイなどの新種発表に関わる標本や、個体数の減少などによって現在では採集できない貴重な標本も含まれており、その学術的価値は極めて高い。特に徳島県内で採集された植物標本としては、近年他に類を見ない規模と質を有している。県立博物館として、徳島県の自然の記録となる資料を適切に保存し、研究・展示に活用していきたい。



図1. 木下氏が発見したカイナンカンガレイ(左)と、徳島県新産となったオオユリワサビ(右)。